






令和6年度陸上自衛隊竹松駐屯地で使用する電気

業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画	担当者						
				防衛技官 田中 清隆 						
竹	松	駐	屯	地	業	務	隊	仕様書番号	:	1

# 仕様書 (A)

1 件名 令和6年度陸上自衛隊竹松駐屯地で使用する電気

2 概要場所等

(1) 需要場所

陸上自衛隊竹松駐屯地 長崎県大村市富の原1-1000番地

(2) 業種及び用途

官公舎 (国家事務)

3 契約期間

自 令和6年 4月 1日 0時00分

至 令和7年 3月31日 24時00分

4 供給電気方式

(1) 供給電圧 (標準電圧) 6,600V

(2) 計量電圧 (標準電圧) 6,600V

(3) 供給電気方式 交流3相3線式

(4) 周波数 (標準周波数) 60HZ

(5) 受電方式 1回線受電

(6) その他

ア 受電総容量 変圧器容量 3,925KVA

イ コンデンサー取付容量 70KVA

5 契約電力

(最大電力) 900 KW

6 予定電力使用量

月別使用量 (2,503,714KWh) は別紙第1のとおりとする。

7 電力量等の検針

(1) 自動検針装置 (計量地点 受電所) 有

電力会社の検針方法 遠隔自動検針

電力量計の構成 九州電力 乗率 ×120

メーカー名 キューキ・型式 KP3E6-R 形電力量計

計器定数 1000pulse/kws 1000pulse/kvars

パルス定数 50000pulse/kws

パルス定数 2000pulse/kws

110V 5A 60HZ PCT 6600/110V 100/5A

- (2) 電力量の検針日は毎月1日の0時00分とし検針票表及び電気料金請求書は毎月2日までに当事業所にファックス等で報告すること。但し検針日が土曜日及び祭日の場合は翌々日の平日とする。

## 8 需給地点

九州電力柱426ヒ262号柱から引き込んだ竹松駐屯地の構内1号柱の引込取付点

## 9 電気工作物の財産分界点

竹松駐屯地構内1号柱、気中開閉器の電源側接続点

## 10 保安上の責任分界点

上記電気工作物の財産分界点に同じ。

## 11 燃料費・力率

- (1) 燃料費、力率の変動による契約価格の改訂は実施しない。
- (2) 力率は、使用期間中100%とし、但し7月・8月・9月は98%以上を保持する。

## 12 電力使用実績

- (1) 各月の最大電力の実績データは別紙第2のとおりとする。
- (2) 電力使用量の実績データ（月別・最大負荷日・時間帯別等）は別紙第2のとおりとする。

## 13 供給電気の種類等

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再生可能エネルギー比率30%とすること。

参照：付紙第1

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件 <http://there100.org/going-100>

#### 14 その他

- (1) 入札価格の算定にあたっては、再生可能エネルギー付加価値料金を考慮し、燃料調整費を2.38円(予想単価)、太陽光発電促進賦課金及び電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別処置法に基づく賦課金(再エネ賦課金)を1.45円(予想単価)として算出すること。ただし、燃料調整費と再エネ賦課金においては契約年度中に単価の変動が予想されるため、予定単価とする。
- (2) 力率の変動、その他要因による電気料金の調整および仕様書に定めのないその他の供給条件については、九州地区の一般電気事業者の定める特定規模、需要標準供給条件を基準に双方の話し合いにより決定するものとする。
- (3) 電力会社が計画停電を実施する場合は、事前に当事業所に通知すること。
- (4) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面(付紙第2、付紙第3)で提出すること。
- (5) 電力会社は部隊が示す年間使用電力量(KWh)分は安定供給する(自社工場等の電力切迫等の理由で部隊側の使用予定電力に影響を与えない)ただし、全国的に行う計画節電(停電)等は除く。
- (6) 電力会社は契約期間中、部隊が依頼する次年度契約電力変更に関する調整業務について対応するものとする(部隊の施設整備に伴い、契約電力の大幅増加が予想され、九州電力引込線側の工事が必要なため)
- (7) その他、この仕様書に定めない事項については、協議の上、決定するものとする。

令和 6 年度竹松駐屯地予定電力使用量  
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日の期間)

	昼間電力量 (k w h)	夜間電力量 (k w h)	ピーク電力量 (k w h)	使用電力量 (k w h)
4 月分	90, 104	63, 911		154, 015
5 月分	81, 475	69, 345		150, 820
6 月分	91, 004	64, 701		155, 705
7 月分	138, 646	108, 175	42, 226	289, 047
8 月分	138, 326	112, 108	40, 831	291, 265
9 月分	122, 343	115, 253	36, 997	274, 593
1 0 月分	100, 296	70, 235		170, 531
1 1 月分	92, 232	64, 373		156, 605
1 2 月分	122, 866	87, 670		210, 536
1 月分	132, 288	95, 774		228, 062
2 月分	135, 536	82, 275		217, 811
3 月分	123, 336	81, 388		204, 724
合 計	1, 368, 452	1, 015, 208	120, 054	2, 503, 714

- ・ 昼間電力量 毎日午前 8 時から午後 1 0 時までの時間で使用する電力量、ただしピーク時間及び及び以下の「休日等」に定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。
- ・ ピーク電力量 夏季（7 月 1 日～9 月 3 0 日までの期間）の毎日午後 1 時から午後 4 時までの時間で使用する電力量。ただし、以下の「休日等」に定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。
- ・ 夜間電力量 ピーク電力量及び昼間電力量以外の時間で使用する電力量
- ・ 休 日 等 日曜日、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日。
- ・ 夏 季 毎年 7 月 1 日から 9 月 3 0 日までの期間
- ・ その他季節 4 月 1 日から 6 月 3 0 日までの期間及び 1 0 月 1 日から 3 月 3 1 日までの期間

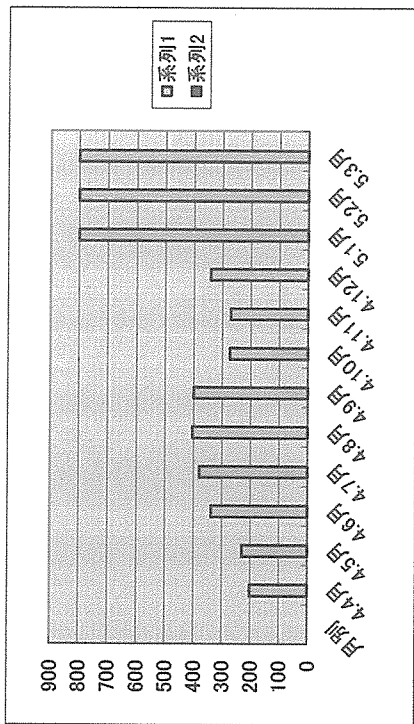
令和5年度電力量使用・最大電力実績・最大負荷日のロードカーブ表

令和5年度月別電力量使用実績kwh

月別	電力使用量	昼間電力量	昼間ピーク電力量	夜間電力量
5.4月	81,700	48,902		32,798
5.5月	83,066	46,291		36,775
5.6月	125,659	78,484		47,174
5.7月	171,355	76,056	22,339	72,960
5.8月	171,643	78,544	23,212	69,885
5.9月	174,793	79,486	22,255	73,052
5.10月	101,141	58,581		42,560
5.11月	93,511	54,134		39,377
5.12月	120,583	72,477		48,106
6.1月	202,021	117,183		84,838
6.2月	194,237	119,517		74,720
6.3月	189,267	114,023		75,244
合計	1,708,976	943,678	67,806	697,489

令和5年度月別最大電力実績  
(R5年11月～R6年3月については前年度参照)

月別	最大電力KW
4.4月	202
4.5月	230
4.6月	339
4.7月	380
4.8月	404
4.9月	400
4.10月	274
4.11月	271
4.12月	342
5.1月	800
5.2月	800
5.3月	800

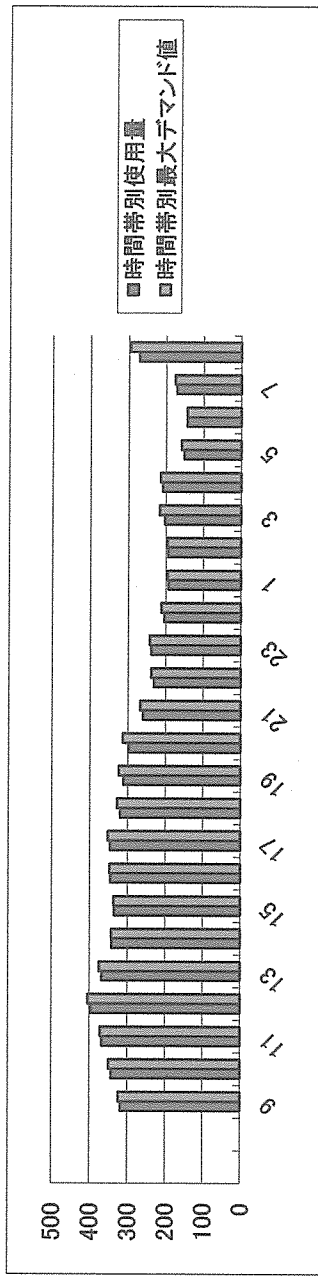


昼間時間＝午前8時から午後10時まで  
 ピーク時間＝夏季の毎日午後1時から午後4時まで  
 夜間時間＝ピーク時間及び昼間時間以外及び（休日等）  
 に定める日の該当する時間帯

令和5年度最大負荷日のロードカーブ  
 令和5年 8月29日

令和5年度 最大電力 404 KW  
 (デマンド監視装置設定値 480 KW)

令和5年度最大負荷日のロードカーブkwh



時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8
時間帯別使用量	318	343	368	396	368	342	336	346	347	320	311	298	260	231	238	204	193	194	203	209	152	144	172	272
時間帯別最大デマンド値	324	350	372	404	375	343	337	348	353	328	324	313	267	238	242	212	195	196	217	215	159	144	176	296

## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

自家発電 (Self-generated electricity)
1. 企業が保有する発電設備による発電
購入電力 (Purchased electricity)
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離した電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 特定電源割当証明書様式例

2024年〇月〇日

特定電源割当証明書

●●●●  
〇〇 〇〇 様

〇〇県〇〇市〇〇  
株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇 印

2024年〇半期に以下の通り●●●●に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、●●●●に移転したこと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

1 お客様情報  
お客様番号 〇〇〇〇  
需要施設名 〇〇〇〇  
需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇  
契約電力 〇〇〇〇kW

2 供給期間  
2024年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生可能エネルギー由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再生可能比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再生可能電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
		合計 (kWh)	

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量	発電期間	認証番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	〇〇
		合計 (kWh)			

総計 (kWh)



特定電源割当計画書様式例

2024年〇月〇日

特定電源割当計画書

●●●●  
〇〇 〇〇 様

〇〇県〇〇市〇〇  
株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇 印

〇〇年度に以下の通り●●●●●に電力を供給したことを計画する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、●●●●●に移転する計画である。

1 需要施設名等

需要施設名 〇〇〇〇  
需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇  
契約予定電力 〇〇〇〇kW

2 供給期間

2024年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh)【A】													
供給電力量 (kWh)【B】													
再エネ比率 (%)【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳

1 再エネ電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量(kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計(kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量		
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇		
合計(kWh)					

総計(kWh)

※計画作成時点において、供給元発電所等について未定である場合は、可能な範囲で細部について記載すること